

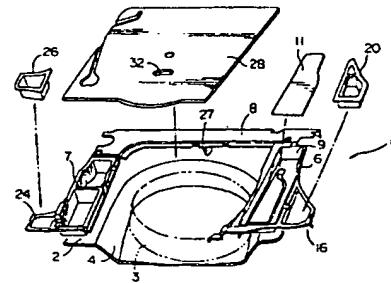
JP 406247211 A
SEP 1994

(54) ACCOMMODATION DEVICE OF TRUNK ROOM

(11) 6-247211 (A) (43) 6.9.1994 (19) JP
(21) Appl. No. 5-35216 (22) 24.2.1993
(71) MAZDA MOTOR CORP (72) TSUNEJI MATSUO(4)
(51) Int. CI^s. B60R5/04, B60R11/06

PURPOSE: To provide possibility of accommodating a normal tire as well as a temporary tire and use effectively the space of trunk room other than where the tire is accommodated.

CONSTITUTION: An accommodation device 1 is composed broadly of three portions, i.e., a righthand trunk case 6, a lefthand trunk case, and a trunk front 8 situated at the front. The righthand trunk case 6 forms an accommodating part 9 in box shape stretching thin and long in the direction fore and aft, while the lefthand trunk case 7 forms an accommodating part as a rectangular recess stretching thin and long ahead alike with the other 6, wherein the accommodating parts in the form of rectangular recess are provided two in tandem arrangement. The trunk front 8 is formed from a plate member stretching crosswise, and the front of this trunk front 8 is curved downward to generate contacting with the trunk room floor surface 1. As reinforcement, ribs 27 are furnished at a certain spacing in the direction crosswise.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-247211

(43)公開日 平成6年(1994)9月6日

(51)Int.Cl.⁵

B 60 R 5/04
11/06

識別記号 庁内整理番号
Z 8012-3D
8012-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全6頁)

(21)出願番号

特願平5-35216

(22)出願日

平成5年(1993)2月24日

(71)出願人 000003137

マツダ株式会社

広島県安芸郡府中町新地3番1号

(72)発明者 松尾 常志

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
株式会社内

(72)発明者 西村 建治

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
エンジニアリング株式会社内

(72)発明者 横田 麗美

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
エンジニアリング株式会社内

(74)代理人 弁理士 中村 稔 (外7名)

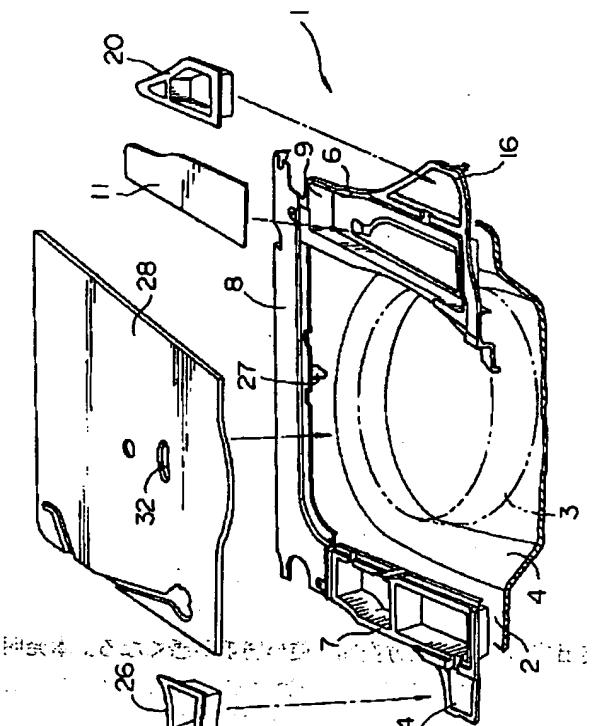
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 トランクルームの収納装置

(57)【要約】

【目的】ノーマルタイヤでもテンポラリタイヤでも収納することができ、しかもタイヤ収納部以外のトランクルーム空間を効率的に使用する。

【構成】収納装置1は、大きく3つの部分からなっており、右側に位置する右側トランクケース6、左側に位置する左側トランクケース7、前側に配置されるトランクフロント8から構成される。右側トランクケース6は、前後に細長く延びるボックス形状の収納部9を形成している。左側トランクケース7は、右側トランクケース6と同様に前方に細長く延びる矩形形状の凹部すなわち収納部21、22を形成している。矩形凹部の収納部は前後に並んで2つ設けられる。トランクフロント8は、横方向に延びる板部材で構成される。トランクフロント8は前側が下方に湾曲してトランクルームフロア面1に当接している。横方向には所定の間隔でリブ27が補強部材として設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】トランクルーム内に形成されたスペアタイヤ収納用スペースの周囲のトランクルームフロア上に配置される収納装置であって、トランクルームフロアに支持される脚部と、用具等を収納する収納部と、該収納部および前記スペアタイヤ収納用スペースの上部を覆うほぼ同じレベルの連続平面部形成する蓋部とを備えたことを特徴とするトランクルームの収納装置。

【請求項2】請求項1において、前記スペアタイヤ収納用スペースはトランクルームフロアに形成された凹部であって、この凹部はスペアタイヤとジャッキの収容に共用され、ジャッキ収納用スペースの上方空間に、前記収納部が配置され該収納部は中間レベルに設けられる中敷と上端部に設けられる蓋とを備え、中敷上に用具を収納できる収納スペースが形成されたことを特徴とするトランクルームの収納装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はトランクルーム内に、ジャッキその他の用具を収納する収納装置に関する。

【0002】

【従来の技術】トランクルーム内にスペアタイヤを収納するようにした車両は公知である。スペアタイヤの収納構造はたとえば、実開昭61-75386号公報に開示されている。この実開昭61-75386号公報には、ノーマルタイヤおよびノーマルタイヤよりも幅の小さいテンポラリタイヤの両方を収納する構造が開示されている。この開示された構造では、フロアに形成されたスペアタイヤ収納用スペースの深さがノーマルタイヤに合わせて形成されている。したがって、ノーマルタイヤを収納するときはそのままノーマルタイヤを凹部に収容して蓋をすると使い勝手の良いフラットなフロア面が形成される。

【0003】また、テンポラリタイヤを収納する場合はスペーサを介して凹部に収容することによって、タイヤの上端のレベルがノーマルタイヤと同じになるようにしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】したがって上記実開昭61-75386号公報に開示される構造では、ノーマルタイヤを収納できるスペースを取ってこれにテンポラリタイヤの収納を行うようにしたので、テンポラリタイヤの場合にはデッドスペースが増大し、スペースの有効な活用が困難となる。

【0005】これを解消するためにテンポラリタイヤのサイズに合わせてフロアの凹部を深さを決めると、ノーマルタイヤを収納すると、タイヤの上部がフロア面から突出するので、上方空間の使い勝手が悪くなる。本発明はこの様な事情に鑑みて構成されたもので、ノーマルタイヤでもテンポラリタイヤでも収納することができ、し

かもタイヤ収納部以外のトランクルーム空間を効率的に使用することができる収納装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために以下のように構成される。すなわち、本発明に係るトランクルームの収納装置は、トランクルーム内に形成されたスペアタイヤ収納用スペースの周囲のトランクルームフロア上に配置される収納装置であって、トランクルームフロアに支持される脚部と、用具等を収納する収納部と、該収納部および前記スペアタイヤ収納用スペースの上部を覆うほぼ同じレベルの連続平面部形成する蓋部とを備えたことを特徴とする。

【0007】この場合、好ましくは、前記スペアタイヤ収納用スペースはトランクルームフロアに形成された凹部であって、この凹部はスペアタイヤとジャッキの収容に共用され、ジャッキ収納用スペースの上方空間に、前記収納部が配置され該収納部は中間レベルに設けられる中敷と上端部に設けられる蓋とを備え、中敷上に用具を収納できる収納スペースが形成される。

【0008】この収納装置は、トランクルームに収納されるスペアタイヤがノーマルタイヤの場合に使用し、テンポラリタイヤの場合には、取り外すようにすることができる。

【0009】

【作用】本発明によれば、トランクルームフロア上に収納部を有する所定の高さを有する収納装置が設けられる。ノーマルタイヤがトランクルームに収納される場合には、本発明の収納装置を取り付けることによって、タイヤの上端部のレベルに匹敵するフラットな面がトランクルーム内に形成される。このフラットの面の下方に収納部を形成してさまざまな用具たとえば、3角板、ジャッキ等を収納するので、有効にタイヤの側方の空間を利用する。

【0010】また、この収納装置によって、タイヤの上端レベルにほぼ一致したフラットな面が形成されるのでその上方空間の使い勝手が良くなる。テンポラリタイヤの場合には、もともとトランクルームフロアに形成される凹部の深さがテンポラリタイヤのサイズに合わせて形成されているので、トランクルームフロアのフロアから突出することはない。したがって、この場合には、上記収納装置を装着しないか、取り外すようにすれば、テンポラリタイヤの収納部分の上方空間を有効に使用することができる。

【0011】また、このように取り外し可能な収納装置とすることにより、このことによって、トランクルームフロアの構造をテンポラリタイヤ用とノーマルタイヤと別々にする必要はなく、共通仕様とすることができ、部品および製造工程を共通化できるという利点もある。

【0012】

【実施例】以下、添付の図面を参照して本願発明の好適な実施例を説明する。図1および図2を参照すると本発明の1実施例に係る収納装置1の、後方からみてそれぞれ右斜め後ろ上方および左斜め前上方から見た全体斜視図が示されている。

【0013】トランクルーム内のフロア面2には、スペアタイヤ3を収納するための凹部4が形成されている。この凹部4の深さは、図3に示すようにテンポラリタイヤ3のサイズに合わせて設けられる。したがって、ノーマルタイヤ5を収納する場合には、タイヤ5の上部がフロア1の上面から突出する。本発明の収納装置1はこのノーマルタイヤ5を収納した際のフロア面1からの突出状態を解消してタイヤ5のほぼ上端にそったフラットの平面をトランクルーム内に形成するように設けられる。

【0014】収納装置1は上記凹部4に配置されるスペアタイヤ3の周囲を取り巻くように平面視コ字状をなすように設けられる。本例の収納装置1は、大きく3つの部分からなっており、図1において右側に位置する右側トランクケース6、左側に位置する左側トランクケース7、前側に配置されるトランクフロント8から構成される。

【0015】右側トランクケース6は、図4を合わせて参考すると、前後に細長く延びるボックス形状の収納部9を形成している。左側のやや後方の位置には凹部4のタイヤ収納部の外側に支持される脚部10を備えている。右側トランクケース6の中間高さ位置には、中敷11が取り付けられており、前記収納部9の右側内壁12に取り付けられた1対のヒンジ13を介して開閉自在になっている。

【0016】これによって図3に示すように凹部4のタイヤ3の外側の空間にはジャッキ14が収納され、中敷11の上方空間には3角表示板15が収納される。すなわち、右側トランクケース6の収納部9は上下2段に活用される。また、ボックス形状の収納部の右側後端にはフレーム16によって張出開口部17が設けられる。この張出開口17には、小さい3角形状の凹部18と矩形形状の凹部19が隣接して設けられたボックス状のケース20が取り付けられる。このケース20は、上記フレーム16によって支持される。

【0017】このケース20の前側で、リヤフェンダ(図示せず)が立ち上がる位置関係になっている。したがってこのフレーム16の前端形状はリヤフェンダの輪郭にそった形状になっている。左側トランクケース7は、図5に示すように右側トランクケース6と同様に前方に細長く延びる矩形形状の凹部すなわち収納部21、22を形成している。矩形凹部の収納部は前後に並んで2つ設けられる。左側後部には、右側トランクケース6と同様にリヤフェンダと緩衝しないように張出フレーム23が設けられ、この開口部24には矩形凹部25を有す

るボックス形状のインナーケース26がはめ込まれようになっている。

【0018】トランクフロント8は、図6に示すように横方向に延びる板部材で構成される。トランクフロント8は前側が下方に湾曲してトランクルームフロア面1に当接している。横方向には所定の間隔でリブ27が補強部材として設けられている。さらに両後端部に設けられた脚部8a、8bでボルトによってトランクルームフロア1に固定されるようになっている。

【0019】また、トランクフロント8は、右後端側で右側トランクケース6の前端に設けられる取り付け金具6aを介してボルトによって右側トランクケース6に固定され、左後端部は左側トランクケース7の前端に設けられる金具7aを介してボルトによって左側トランクケース7に取り付けられる。スペアタイヤ3の上方には、図7に示すように右側トランクケース6、トランクフロント8、左側トランクケース7の内端縁によって支持される蓋28が取り付けられる。この蓋の下面には右側トランクケース6、トランクフロント8、左側トランクケース7の側面に当接するコ字状のストップ29が適当な位置に複数個設けられる。また、ジャッキ14のハンドルを止める凹部が設けられ該凹部にはフックが3か所設けられる。さらに、この蓋28を開閉するための係合穴32がほぼ中央部に設けられる。なお、右側トランクケース6の下方の空間部には、ウォータタンク34が収納される。

【0020】図3に示すように右側トランクケース6の収納部9の上方にも蓋33が設けられ、上部を覆うようになっている。左側トランクケース7にも同様に収納部31、32の上方を覆う蓋が設けられる。また、それぞれの張出部23に支持されるケースにもスペアタイヤ3の蓋と面一になるようにそれぞれ蓋が設けられる。

【0021】

【発明の効果】以上のように本発明によればトランクルームフロアにテンポラリタイヤ用の凹部を設けることによって、ノーマルタイヤを支障なく収納することができる。すなわち、トランクルーム内にタイヤの突出状態を無くして平面を構成することができる。このことによって、その上方空間の使い勝手が良くなる。さらに、本発明の収納装置をトランクルームフロア状に装着することによって、ノーマルタイヤの突出部の側部の空間の有効利用を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の1実施例にかかるトランクルームフロアの収納装置の斜視図、
- 【図2】収納装置の図1とは別の角度からみた斜視図、
- 【図3】トランクルームの部分断面図、
- 【図4】右側トランクケースの斜視図、
- 【図5】左側トランクケースの斜視図、
- 【図6】トランクフロントの斜視図、

5

【図7】スペアタイヤの上方の蓋の斜視図、

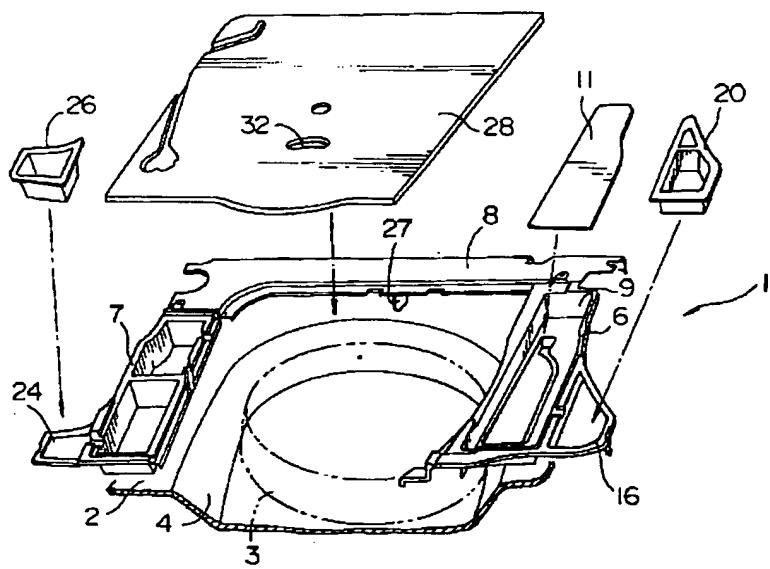
【符号の説明】

- 1 収納装置、
2 フロア面
3 スペアタイヤ
4 凹部

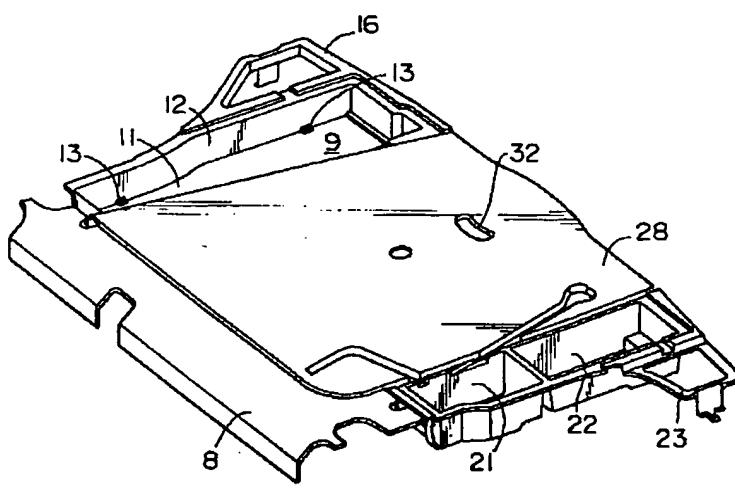
- 6 右側トランクケース
7 左側トランクケース
8 トランクフロント
20 ケース
26 ケース
28 蓋。

6

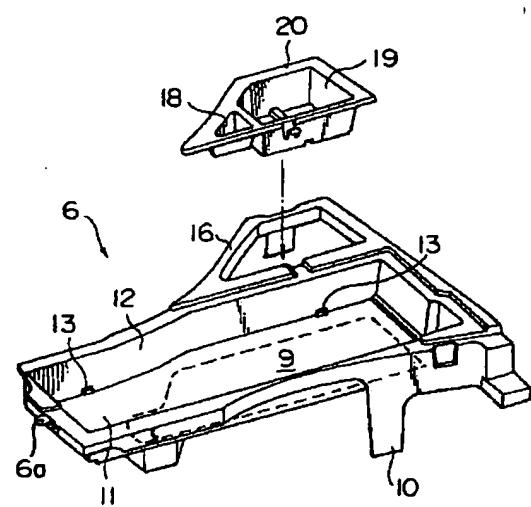
【図1】



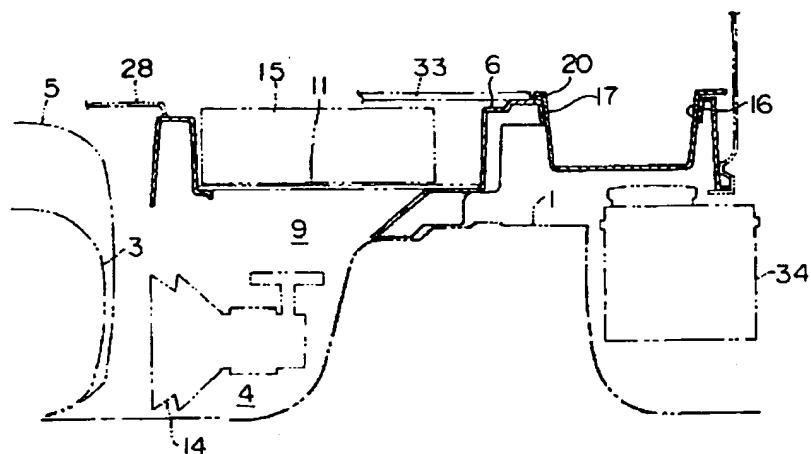
【図2】



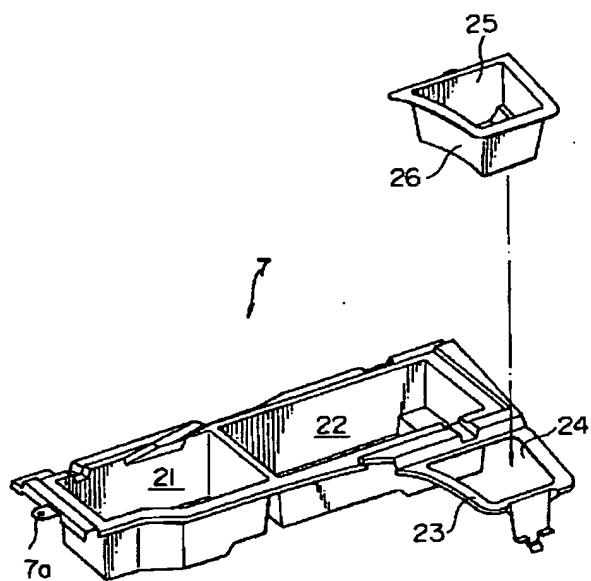
【図4】



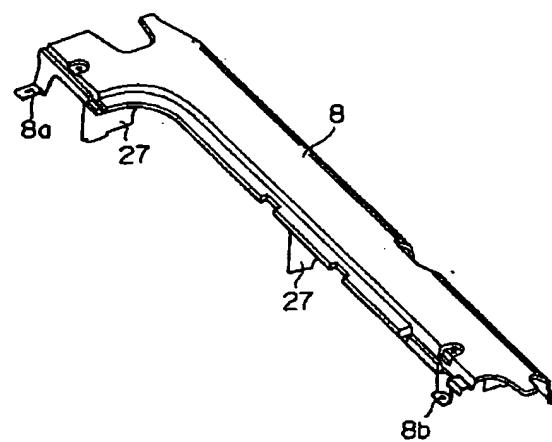
【図3】



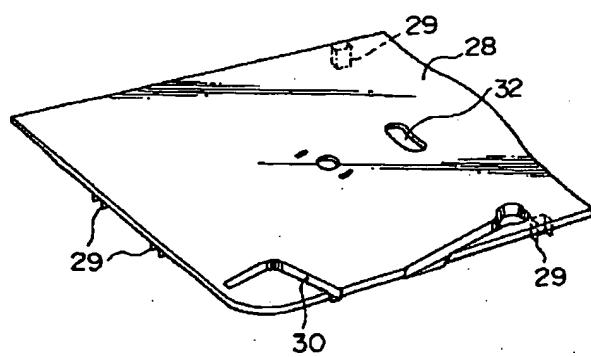
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 大西 直人

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
エンジニアリング株式会社内

(72)発明者 塩田 康之

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
エンジニアリング株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.